

川上ダム通信

2018
11
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



Vol. 158
Since 2005

想定外を想定内に！

～川上ダム建設所で地震防災訓練を実施～

9月19日(水)、当建設所において地震防災訓練を実施しました。この訓練は、「防災の日」にあわせて実施しているものですが、本年は当初予定していた9月4日に台風21号の影響を受けたため、訓練日を延期して実施したものです。

訓練は、午前8時頃に東海・東南海・南海の連動地震により伊賀市・名張市において、震度6弱の地震が発生したという想定で実施しました。地震発生時における職員および家族の安否確認、庁舎の臨時点検、防災本部の設置訓練など震災発生時初動動作や現場における被災状況確認・復旧対応などについての行動や手順を確認する一斉訓練と、備蓄している防災資材の確認および発動発電機などの起動確認を行う個別訓練を、全職員が、本番さながらの緊張感をもって取り組みました。



緊張感のある防災本部

一斉訓練では、ダム建設現場内で地震による地すべりにより、被災者を含めた被害が発生したという想定で、工務班・巡視班・被災者対応班などが各班の役割や応急復旧対応、被災者対応行動を実働の中で確認しました。

個別訓練では、本年度から新たに導入した災害対策用浄水器を使用し、前深瀬川と川上川から採水した水を浄水し、職員が実際に試飲して確認する訓練も行われました。

訓練実施後の反省会では、職員全員が訓練を振り返り、訓練時の問題点・改善点を洗い出すことで、事前準備の重要性を確認しました。



災害対策用浄水器の起動・運転確認の様子

本訓練を通して確認できた課題については早急に見直しを行い、有事の際の備えを万全にすることで、想定外を想定内にできるよう対応していきます。

【工務課 中野春男】

～関西・吉野川支社淀川本部管内 技術研究発表会を実施～

優秀賞・特別賞を受賞しました！

10月3日（水）、関西・吉野川支社淀川本部管内の技術研究発表会が行われました。この発表会は、機構職員が日々の業務で創意工夫しながら取り組んだ内容を報告、提案を行うこと、また広く発表する場を設けることで、技術力の向上を図るとともに、自己啓発と研究意欲を喚起することを目的として行われているものです。

21回目の開催となった今回は、当建設所から6名が、現在川上ダムで実施している本体工事や調査、広報まで多種多様な内容で日頃の成果を発表しました。

この日は所属の異なる職員や、機構職員以外の方々に向けて発表を行うため、限られた時間の中でもわかりやすい内容となるように、言葉遣いや、図表の見やすさなどを意識して事前に準備を行ってきました。

審査の結果、経理課「広報の新たな展開（ダムツーリズムへの取組）」が優秀賞、環境課「転流に伴うオオサンショウウオ保護の取組み」が特別賞を受賞し、この2名は12月に行われる本社での技術研究発表会へ参加することとなりました。

今回発表を行った職員に限らず、当建設所職員全員が技術力向上に努めるとともに、皆様への説明能力の向上にも日々努めてまいりたいと思います。

【調査設計課 赤尾大樹】



本戦（本社・埼玉）でもがんばります！

先例地視察報告～より良いダムづくりのために～

これらの視察は、先例のダム建設現場での取組や課題等を学び、川上ダム建設事業の推進に寄与する技術情報等の習得を目的として行われたものです。 【安威川ダム：9月12日、横瀬川ダム：10月16日】

あいがわ 安威川ダム（大阪府）



広報に関する取組み事例を確認

安威川ダムは大阪府が事業を行う建設中のロックフィルダムであり、府から建設事業に係る技術的課題についての助言・提案を委託され、水資源機構総合技術センターの職員3名が活躍しています。

安威川ダムでは、基礎掘削工が完了したばかりであり、当時の課題や対応策などを伺いました。当建設所の今後の課題となる広報については、展望所や資料館が設置されるなど進んだ取組みがされていました。

先例地での事例を参考に、より良いダム建設を行ってまいります。

【調査設計課 馬場貴裕】

よこぜがわ 横瀬川ダム（高知県）

国土交通省四国地方整備局が建設中の横瀬川ダムは「重力式コンクリートダム」であること、コンクリート用骨材に「購入骨材」を使用していることなど、川上ダムとの共通点が多いダムです。

現地では、川上ダムでも使用する「購入骨材」に関して、運搬路の安全対策やコンクリートの品質管理などについて、実績を確認することができました。その他にも、川上ダムで課題になり得るような留意点や、広報に関する取組みなどを伺うことができました。

今回学んだことを活かし、より良いダムづくりに励みたいと思います。



施工状況について伺う

【工事課 西宏治郎】

中原副所長（技術）の着任挨拶

8月より川上ダム建設所の副所長として着任しました中原忠義（なかはらただよし）と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

着任早々、ダム本体工事の起工式が盛大に開催されました。これからダム建設工事の最盛期を迎えるわけですが、長き事業の歴史における最後の仕上げを託された技術者として、これまで多大なるご協力をいただいていた地権者、水没移転者の皆様をはじめ、ご苦勞された関係者の皆様方の思いに応える気持ちのこもった仕事、しっかりとしたダムづくりに職員一丸となって臨むことをお約束させていただきます。また、将来的に川上ダムが地域観光や憩いの場としてご活用いただけるよう、魅力あるダムづくりにも地域の皆様方と連携・協働して取り組んでまいります。そして、今しか見られないダム建設現場の様子を多くの皆さんに見ていただく機会もつくってまいります。現在、当建設所のホームページで現場のライブ映像がご覧いただけます。現地展望所の開設・開放の準備も進めておりますので、また改めてご案内させていただきます。

これまでの事業へのご理解、ご協力に深く感謝致しますとともに、引き続き皆様方のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

【副所長（技術） 中原忠義】



宜しくお願い申し上げます

ダム本体工事起工式の裏話

ダム通信10月号で紹介できなかった起工式の裏話を写真で紹介いたします。



持っているのはほうき！？



式典会場のリハーサル

職員が来賓役をさせていただきました

マイクのリボン手作りです



駐車場の看板も手作りでした



鍬入れの盛砂の裏には名札がありました



駐車場のライン引きの風景

ダム堤体のコンクリートに使用する骨材の運搬を開始しました。

川上ダムの堤体コンクリートに使用する骨材は、近隣の砕石工場から川上ダムまでダンプトラックで運搬しています。

交通量の増加に伴いご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力のほどお願いします。



ダンプトラックに「川上ダム・骨材」のエプロンをつけて走っています



※作業前動作確認中

交差点です
注意して下さい

各車にGPS機能付タブレット端末を搭載し、運行状況の管理や、運転手への注意喚起を行っています

~本体工事の進捗状況~



:完了



:施工中



:未実施

| 転流工 | | 基礎掘削 | 基礎処理 | 堤体打設 | | 試験湛水 | 完成! (H35.3 予定) |
|--------------|-------|------|-------|-------|--------|------|-------------------|
| H30.4 | H30.9 | 現在 | H31.4 | H31.9 | H33.10 | | |
| 仮排水路 トンネル | 仮締切工 | | | | | | |

川上ダム建設所では、随時、現場見学も受け付けています。詳しくは川上ダムHPの「見学・出前講座」をクリック!
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami/joho/demae/index.htm>

【工事課 西宏治郎】

10月の転出者と転入者の紹介

転出者

| 所属 | 氏名 | 異動先 |
|-------|-------|-----------|
| 第二用地課 | 富士澤 誠 | 丹生事務所(滋賀) |

転入者

| 所属 | 氏名 | 異動元 |
|-----|------|--------------|
| 機械課 | 伊藤 大 | 関西・吉野川支社(大阪) |

イベントのお知らせ

大村神社例祭(秋祭り)

- ・開催日: 11月3日(土・祝)
- ・場所: 伊賀市阿保 大村神社
- ・問合せ先: 大村神社
TEL: 0595-52-1050

敢国神社 新嘗祭・黒党祭

- ・開催日: 11月23日(金・祝)
- ・場所: 伊賀市一之宮 敢国神社
- ・問合せ先: 敢国神社
TEL: 0595-23-3061

2018 忍者の里伊賀上野シティマラソン

- ・開催日: 11月25日(日)
- ・場所: ハイトピア伊賀周辺~伊賀市内
- ・問合せ先: 伊賀上野シティマラソン実行委員会事務局
TEL: 0595-22-9635

編集後記

あまりなじみの無い人がほとんどでしょうが、秋~冬にかけてはラグビーのトップシーズンです。なぜ寒い時期かといえますと、単純に暑いと体が持たないからだそうです。

さて、ラグビーといえば、来年の9月~11月にかけて、ラグビーW杯が日本で開催されます。残念ながら三重県での開催はありませんが、近くでは大阪・花園ラグビー場、愛知・豊田スタジアムが会場になっています。世界トップクラスのプレーが見られる一生に一度のチャンスですので、今からでも、ラグビー観戦を始めてみてはいかがでしょうか。

【広報誌発行事務局】

| | | |
|-----|-----------|-----------|
| 編集長 | 北牧(所長) | |
| デスク | 大西(総務課長) | 中野(工務課長) |
| 記者 | 西澤(経理課) | 伊美(第一用地課) |
| | 馬場(調査設計課) | 柳瀬(環境課) |
| | 西(工事課) | 下園(機械課) |